

第15回山形県障がい者スポーツ大会陸上競技実施要項

- 1 日 時 平成28年 5月 21日 (土)
受 付 8時45分 (NDソフトスタジアム正面玄関)
競技開始 9時40分 (NDソフトスタジアム)
競技終了 14時00分

- 2 会 場
山形県総合運動公園 NDソフトスタジアム
天童市山王1-1 電話：023-655-5900

- 3 主 管 (運営協力)
一般財団法人山形陸上競技協会 天童市陸上競技協会

- 4 競技規則
平成28年度 (公財) 日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会規則」、(公財) 日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

- 5 参加対象者
 - ・身体障がい者 (肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい、内部障がい)
 - ・知的障がい者

- 6 競技方法
競技は、予選を行わず、各組1回の決勝により行う。

《走技群》

- (1) 50m競走で使用する車いすは、日常生活用とする。
- (2)トラック競技で棄権がある場合は、そのレーンをあけて実施する。
- (3)すべての競走競技においてクラウチングスタートをしなくてもよく、またスターティング・ブロックを使用しなくてもよい。
- (4)400mまでの競走及び4×100mリレーのセパレートレーンにおいて内側のレーンに入った場合は失格とする。ただし、直線においては、他の競技者を妨害しない限り失格としない。
- (5)800m競走は、第2コーナーの曲走路が終わるまでセパレートレーンで行う。
- (6)車いすで100m以上の競走種目に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技しなければならない。
- (7)競争競技は50mと100mの両方に申し込みことは出来ない。
- (8)1500m競走はオープンコースとする。
- (9)4×100mリレーは男女混合とし、バトンパスはテイクオーバーゾーン内で行う。
- (10)競争競技のスタートは、一般の陸上競技の規則を適用する。スタートコール

は「イングリッシュコール」へ、不正スタート（フライング）は1回目で失格とする。

(11) 聴覚部門（平衡、音声言語、そしゃく機能含む）のスタートは次のように行う。

① 競技者全員が見えやすい位置とする。

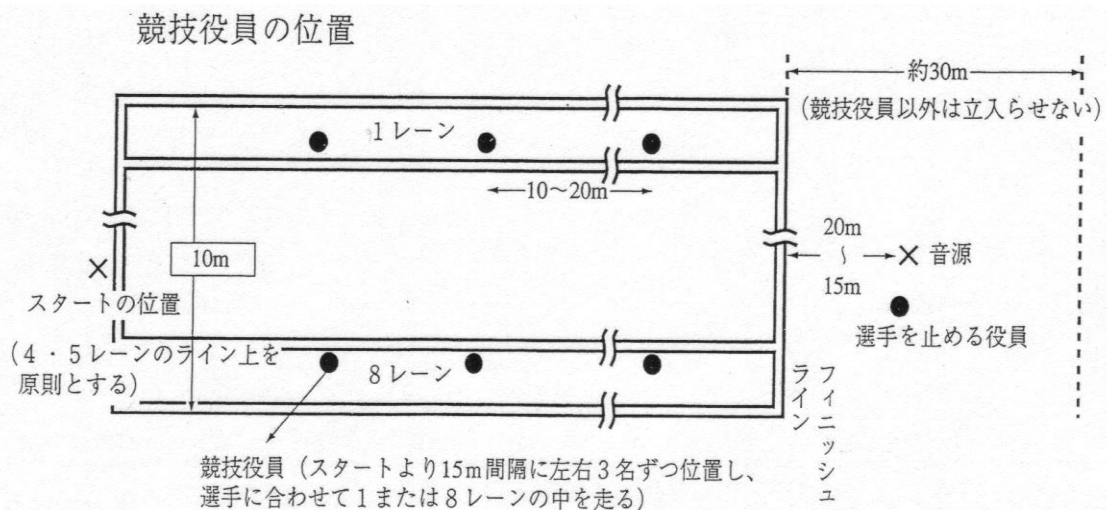
② 100m及び200mについては、椅子に座った姿勢で、800m及び1500mについては、立った姿勢でピストルを発射する。

③ 「オン・ユア・マークス」（意味：位置について）でピストルを肩口に移動し、一方の手でブロックへの移動を促す。

④ 「セット」（意味：用意）でピストルを保持した腕を地面と平行に前方に伸ばす。

⑤ 上記の姿勢を保持したまま、ピストルを発射する。また、競技役員とのコミュニケーションが困難な場合、手話通訳等を立ち合わせる。

(12) 視覚障がい者（障がい区分24、25）の50m競走は音源走のみとし、使用する音源はハンドマイクに収納した音源、または、それに類似するものとする。また、現在競技役員による音源出しとなっているが、参加チーム・個人の介添人も音源誘導者（コーラー）を選出し、音源出しをすることが出来る。



(13) 視覚障がい者部門の障がい区分24、25の者で伴走を必要とする場合は、原則として参加者が伴走者を用意すること。

(14) 視覚障がい者部門の障がい区分24、25に属する者の50mを除く競走競技で認められた伴走者が、フィニッシュで競技者の斜め後ろに位置しなかった場合は、写真判定により失格とする。

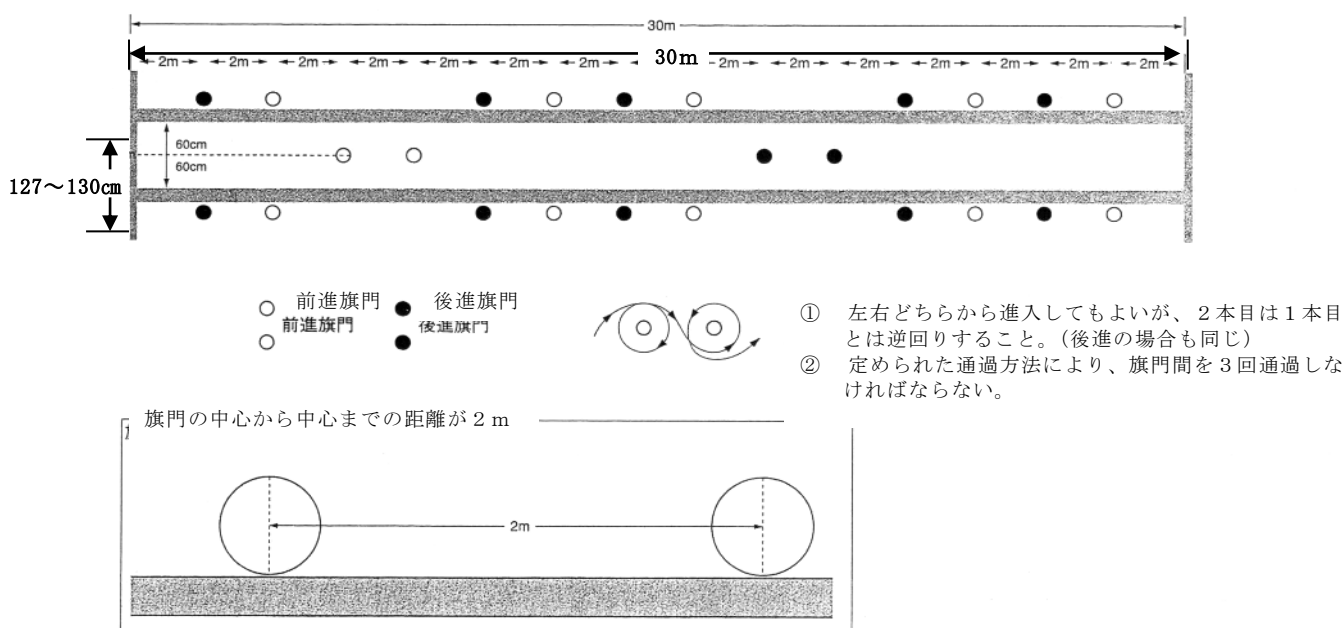
(15) 視覚障がい者部門の障がい区分24、25に属する者の競走競技でセパレートレーンを使用する場合には、スタートラインを延長して、1人の競技者に1つ外のレーンを含む2レーンを割り当てる。(伴走者も2レーン分の中に入ること) 延長するスタートラインは、ラインと同じ幅で同系色の粘着テープ等を使用する。

(16) スラローム競技は原則として1人ずつの競走とし、所要時間によって順位を決定する。走路は2及び6レーン、または3及び7レーンを使用する。

(17) 白色の旗門は前進、赤色の旗門は後進によって通過しなければならない。

- (18) スタートラインより 6 m 地点の旗門と 18 m 地点の旗門の通過方法は、次のとおりとする。
- ・ 1 本目の旗門を右回り（左回り）で 1 周した後、2 本目の旗門を左回り（右回り）で 1 周し通過すること。
- (19) 旗門を倒した場合、1 本につき所要時間に 5 秒を加算する。ただし、倒した旗門に再び触れた場合は違反としない。
- (20) 通過の方法を間違えたままフィニッシュした場合は失格とする。ただし、フィニッシュラインに到達するまでならばやり直すことができる。その場合の反則や所要時間はすべての所要時間に含まれる。
- (21) スタートとフィニッシュは競走競技と同様に扱う。
- (22) 風力は計測しない。

《スラロームの障害物および旗門の位置》



《跳技群》

- (1) 走高跳を除き、各競技者は、2 回までの試技が許される。
- (2) バーの上げ幅は一律 2 cm とする。
- (3) 視覚部門の走高跳は、助走してもしなくてもよいが、片足で踏み切らなければならない。
- (4) 立幅跳の踏み切りは、両足同時に踏み切るものとする。
- (5) 跳躍競技は、立幅跳と走幅跳の両方に申込みことはできない。
- (6) 踏切線と砂場距離については、「全国障害者スポーツ大会競技規則」によるが、当日審判長の判断により変更することがある。

《投技群》

- (1) 各競技者は、3 回までの試技が許される。
- (2) 投てき物の重量・規格等は別表のとおりとする。
- (3) 車いす及び電動車いす使用者の投てきは次のように行わなければならない。

①助走することなく、車いす等を固定し、臀部がシートに着いた姿勢から投げ始めなければならない。

②試技が完全に終了するまでは、臀部がシートから離れてはならない。

(4) ジャベリックスローは、やり投げの規則に準じて行う。

(5) 障がい区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

7 助 力

介助者による競技中の助力行為は認められない。助力を受けた選手は失格とする。

8 招 集

(1) 招集所は陸上競技場第1ゲート付近(グラウンド100mスタート付近)に設ける。

(2) 招集は、開始時刻表に記載された競技時刻の、フィールド競技は30分前、トラック競技は15分前までに点呼を受け完了する。

(3) 点呼を受けた競技者は、招集所に待機し、係員の誘導により競技場に移動する。

(4) リレー競技に出場するチームは、競技開始1時間前までにオーダー(走順)を招集所に提出すること。(用紙は招集所に備えてある)

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとみなし、出場できない。

9 競技の服装

(1) 競技にあたっては、競技に適した服装(ランニングシャツ、トレーニングシャツ等)を着用し、ナンバーカードは主催者が交付したものを競技服装の上衣の胸部及び背部に着用すること。

車いす使用競技者は、係員の指示に従い車いすの見えやすい位置に取り付けてもよい。

(2) 競技に使用するスパイクシューズは次のとおりとする。

① スパイクピンの数…競技用靴の靴底及び踵は、11本以内のスパイクピンを取り付けられる構造とする。

② 11本以内であればスパイクは何本でもよいが、スパイクピンの位置を変えることができる装置は11カ所を越えてはならない。

③ スパイクピンの寸法…競技用靴の靴底又は踵から突出した部分のスパイクピンの長さは、9mmを越えてはならない。

また、走高跳、ソフトボール投の場合は12mmを越えてはならない。

④ これらのスパイクピンの直径は先端が4mm以内でなければならない。

10 表 彰

当日表彰は行わず、受付にて記録証を配付します。

※なお、後日記録証の郵送はいたしませんので注意してください。

11 出場申込方法

- (1) 本部門に出場を希望する者は、別紙「競技種目表」に示されている競技種目のうちから出場種目（2種目まで可能）を選び、出場申込書（様式1-1）により平成28年4月22日（金）までに申し込むこと。（郵送またはメールでの申し込みのみ受け付けます。なお、FAXでの申し込みは一切受け付けないものとする。）なお、障がい区分に該当しない種目には出場できない。
- (2) 参加費は無料とする。
- (3) リレー競技は、個人競技に出場申込している者の中から選出し、男女混合とする。ただし、男女の比率は自由とする。
- (4) 出場申込の取りまとめについて
 - ①特別支援学校・中学校・高等学校在校生は、在籍する学校が一括で取りまとめ、事務局へ申し込むこと。
 - ②グループホーム・福祉ホーム等入居者、身体・知的障がい者施設への入所・通所者は当該施設から事務局へ申し込むこと。
 - ③在宅の障がい者で、障がい者福祉団体、スポーツ競技団体等に参加している場合は当該団体を通して事務局へ申し込むこと。
 - ④上記以外の者は、各市町村福祉担当課を通して申し込むこと。

12 その他

- (1) 開始式は行わず、競技開始は放送でご案内いたします。
- (2) 傷害保険の加入について

競技別大会への出場選手及び引率者などは、各人にて傷害保険に必ず加入することとし、主催者側では一切責任を負わないものとする。
- (3) 大会における提出書類の様式について

関係機関への案内発送と同時に当協会公式ホームページより閲覧及びダウンロードを解禁する。必要部数等について参加者各位でプリントアウトを行い、陸上競技実施要項記載の締め切り日（4月22日）厳守で大会事務局へ申し込むこと。
- (4) 大会競技順及び競技別プログラムについて

大会参加者の競技順は各大会の開催10日前をめどに、プログラムは5日前をめどに当協会ホームページよりダウンロードを解禁する。参加者各位でプリントアウトを行い、受付開始時刻に遅れることの無いよう確認すること。
また、当日競技場にてプログラムの有料販売を行う。
- (5) 全国大会参加希望について

全国障害者スポーツ大会の参加希望について、出場申込書内（様式1-1～5）の回答欄に希望の有無を明確にすること。当該大会に係る選手選考は参加

希望者の中から選考委員会の選考を経て、県が決定する。(別紙、資料参照)

(6) トレーナーブース (コンディショニングルーム) について

屋内走路に日本障がい者スポーツ協会公認トレーナーと、理学療法士によるトレーナーブース (コンディショニングルーム) を設置・開設します。参加者の当日ケアはもちろんのこと、日頃のコンディショニングやトレーニング等の相談も承ります。どうぞご利用ください。

【連絡先】

山形県障がい者スポーツ協会

〒990-2231 山形市大字大森385

TEL/FAX 023-686-4084

メールアドレス info@yamagata-adapted.jp

ホームページ <http://www.yamagata-adapted.jp/>

担当：川田・渡辺

種 目 表

トラック競技（競走）

- ①スラローム
- ②50m
- ③100m
- ④200m
- ⑤400m
- ⑥800m
- ⑦1500m
- ⑧リレー

フィールド競技（投てき）

- ①ジャベリックスロー
- ②砲丸投げ
- ③ビーンバック投げ
- ④ソフトボール投げ

フィールド競技（跳躍）

- ①立幅跳
- ②走幅跳
- ③走高跳

別 表

砲丸投げ		男 子		女 子	
障がい区分 (番号)		1 部	2 部	1 部	2 部
肢 1	1	4 kg	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
肢 2	12	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg
	13	4 kg			
	14				
	15				
肢 3	19	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg
	20				
	21				
	22				
視	24	4 kg	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg
	25				
	26				
聴	27	4 kg	2.721 kg	2.721 kg	2.721 kg

種目 (障がい区分)	性別	重量・規格等	備考
ソフトボール投げ (該当する区分全て)	男女	日本ソフトボール協会公認 「協会3号ボール (ゴム球)」	投げ方自由
ビーンバッグ投げ (該当する区分全て)	男女	布または適当なものの袋に、 大豆等を入れたもの (12cm×12cm)重量150g	投げ方自由 (足にのせ蹴り出し可)
ジャベリックスロー (該当する区分全て)	男女	ターボジャブ 長さ70cm 重さ300g	投げ方は やり投げに準じる